

「幕張新都心拡大地区新駅設置に関する基本協定書」を締結しました

千葉県・イオンモール株式会社・千葉市の3者を構成員とする「幕張新都心拡大地区新駅設置協議会」は、以下のとおり、東日本旅客鉄道株式会社と幕張新都心拡大地区新駅設置に関する基本協定書を締結しましたのでお知らせします。

1 幕張新都心拡大地区新駅設置に関する基本協定書の概要について

(1) 目的

幕張新都心拡大地区新駅設置に関する基本的事項を定め、双方が協力して円滑に事業を実施することを目的とする。

(2) 主な内容

新駅整備の設計及び工事の施行は東日本旅客鉄道株式会社が行い、それに要する費用は、幕張新都心拡大地区新駅設置協議会が6分の5、東日本旅客鉄道株式会社が6分の1を負担する。

対象事業費

費用負担割合

駅舎建設費	新駅設置協議会 5/6
	<内訳> <ul style="list-style-type: none"> ・地元企業（代表イオンモール株） 3/6 ・千葉県（企業土地管理局） 1/6 ・千葉市 1/6
	東日本旅客鉄道(株) 1/6

(3) 締結日

平成30年4月20日（金）

2 今後の予定

(1) 平成30年度 概略設計の実施

基本調査で示された概要に基づき、経済性や施工性を考慮した工法や仕様などの比較検討を行い、より精度の高い工事費や工期等を算出するための概略設計を、東日本旅客鉄道株式会社に依頼する。

(2) 平成31年度～ 詳細設計（約1年半）、工事（約3年半）（基本調査結果より）

※関係者との協議により変更となる場合があります。